

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 平成27年度の活動を推進するため、新たな取り組みの実施、取り組みの展開について検討。

## 開催概要

【富山県部会】平成27年6月19日（金）16:00~17:00

・〔会場〕富山河川国道事務所 3F会議室

・〔出席機関〕

- 〔行政〕北陸地整・富山河川国道、富山労働局・富山県土木部・教育委員会
- 〔建設産業〕日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部
- 〔教育〕富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校
- 〔オガバ-〕立山砂防、利賀ダム、伏木富山港湾、南砺福野高校

## 検討結果

- ①インターンシップにおいて、募集時期及び実施期間の拡大、募集時に公共交通の情報などきめ細やかな対応、参加日程の調整などの要望。
- ②現場見学会などは、県の支援もあることから、資料には富山県を追記する。
- ③建設界における情報共有として、「雇用管理改善促進事業」に関し、適用業種の改善の要望。
- ④南砺福野高校を「富山部会」正式メンバーとして、参加して頂くことで了解。南砺福野高校へは整備局の本会の規約改正までは正会員と同様に、情報共有を行う。



今年取の活動内容などを確認した県部会  
平成27年6月22日  
建設工業新聞



**担い手確保へ 課題情報共有**  
北陸建設界協議会県部会  
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会の県部会が19日、富山市奥田新町の富山河川国道事務所であり、建設関係団体や教育機関の関係者ら約20人が建設界の課題について情報を共有した。

協議会は担い手不足解消に向けて昨年10月に設置され、県部会の開催は今回が3回目。部会では、建設関係の学校がある桜井高校や高岡工業高校、県立大学で建設業協会などが行う講座の内容や日程を確認したり、インターンシップで学生の受け入れを予定している県内の企業を紹介したりした。

平成27年6月20日  
北日本新聞

## 連続講座の開設で継続的に担い手を育成

富山県立大学との連携

富山河川国道事務所

- 富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所は、富山県立大学環境工学科1年生を対象に今年度から年4回の連続講座を開設し、県内の河川、道路、港湾等の身近な社会資本を題材に、その目的と役割、地域との関わり合いについて学習しています。最終講座では、実際の施工現場を訪れ、講義内容の理解を深めると共に、現場の若手技術者と意見交換を行い、建設業の魅力に触れて貰う貴重な体験をしました。
- 本講義は今年度から初めて開設されましたが、来年度も年4回の連続講座が行われる予定で、建設業界への若手技術育成と建設業界のイメージアップに引き続き、取り組みます。

## 開催概要

【富山県立大学出前講座】

- 1回目 6/19 13:00~14:30 講義「富山の社会資本の役割（総論）」
- 2回目 6/26 13:00~14:30 講義「道路事業の進め方（道路）」
- 3回目 7/3 13:00~14:30 講義「港湾事業の役割（港湾）」
- 4回目 7/10 13:00~17:00 現場研修

「国道8号坂東交差点立体化・伏木富山港老朽化対策他」

- ・体験学習（特殊盛土と通常盛土の違い、最新測量体験、実際の器具を使った鉄筋結束作業体験）
- ・若手技術者（卒業生）が直接建設業界の魅力を説明

対象 富山県立大学環境工学科1年生 44名



富山県立大学卒業生指導による測量体験



土質改良効果の簡易現地実験



富山県立大学卒業生OGによる事業説明



出前講座は、県内の身近な社会資本の役割を知り、建設界の魅力に触れてもらうため、6月日から4回の日程で両事務所が開いた。



道路・港湾の工事現場見学会  
県立大1年生  
富山県立大学環境工学科1年の44人が10日、同市坂東（新築）の国道8号坂東交差点立体化と富山新港の老朽化対策事業を見学した。富山県立大学の富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所の連続出前講座の締めくくりと行った。

富山県立大学環境工学科1年の44人が10日、同市坂東（新築）の国道8号坂東交差点立体化と富山新港の老朽化対策事業を見学した。富山県立大学の富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所の連続出前講座の締めくくりと行った。

富山県立大学環境工学科1年の44人が10日、同市坂東（新築）の国道8号坂東交差点立体化と富山新港の老朽化対策事業を見学した。富山県立大学の富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所の連続出前講座の締めくくりと行った。

・富山河川国道事務所は、平成27年7月2日（木）坂東立体化工事箇所において、高岡工芸高校土木環境科3年生を対象とした現場見学会を行いました。  
本見学会は、高校生が実際の現場に触れ「道路建設に関する重要性ならびに建設業界の魅力」について理解促進を図ることにより、建設業界の担い手確保と育成を目的として実施しました。

## 開催概要

### 【高岡工芸高校現場見学】

日時：平成27年7月2日（木）9時30分～11時  
場所：一般国道8号 坂東立体化事業箇所（富山県射水市坂東地先）  
対象：高岡工芸高校土木環境科3年生19名  
内容：◇体験学習（特殊盛土と通常盛土の違い、最新測量体験、高力ボルトの締め付け体験）  
◇若手技術者（卒業生）が直接建設業界の魅力を説明



土質改良効果の簡易現地実験



建設工業新聞（7月3日付）



高岡工芸高校卒業生OBによる説明



橋梁の高力ボルトの締め付け体験

# 「ドボジョが集合」～女性技術者の活躍推進の取り組み～

## 【女性技術者が現場（職場）で活躍できる環境の創出に向けて現場見学会と意見交換会を開催】

能越道七尾氷見道路の工事で、女性が監理技術者を務める現場からの相談を受けて、富山河川国道事務所と地盤工学会北陸支部が協力して企画・運営。  
意見が出やすくなるよう意見交換会は女性限定とし、現場での説明も女性の技術係長や監理技術者が務めた。



現場と重タンクを背に記念撮影



会社は違ってもヘルメットのシール色は一緒

参加者どうしの交流を深め、活発な意見交換ができるよう、分野や立場の異なる41名の参加者を集合直後から6つのグループに組み分け  
【女性技術者の内訳】  
整備局（7名）、自治体〔富山市、金沢市、七尾市〕（10名）、  
建設会社（8名）、コンサルタント（6名）、調査会社（5名）、  
学生〔富山県立大、石川高専〕（5名）  
★名札とヘルメットに貼付けるシールはグループ毎に変え、一体感を創出☆

現場見学では、情報化施工による大規模土工や大規模プロジェクトに欠かせないパイロット道路、CIM（Construction Information Modeling）等について、実際に工事に使われる重機や盛土材料を目の前にして説明を受けた。

参加者からは、「大規模な現場で驚いた」、「最新のICT技術がこれから普及してほしい。」等の感想が寄せられた。



泥岩サンプルで膨潤実験



中波地区の切土工事で情報化施工を見学



各グループでまとめた意見は副所長に報告

## 現場見学後に氷見市女良地区女性活動拠点施設に場所を移して意見交換会を開催

### ＜意見交換会のテーマ＞

- 女性の視点で見た現場に足りないもの
- 女性が技術者である事のメリット、デメリット
- 女性技術者に対する偏見
- 建設業に関心はあるも他業種と比較して建設業を女性の職業として選べない致命的な原因は何か

### ＜報告された意見の一例＞

- ・現場には女性用のトイレ、更衣室、休憩室がない。
- ・女性の体型に合った作業服がない。作業服がダサい。
- ・女性だからと意識されすぎる。
- ・男性は愛想がないので、女性はオープンな現場づくり、業界の魅力発信ができるのではないかと。

これらの状況は、新聞4社で報道された。 ★意見交換会だけで聴き取れない意見はアンケートで補充☆

# けんせつ小町による「チーム合又川」が始動！

～小矢部川・合又川合流点処理工事の女性技術者たち～

富山河川国道事務所

- 小矢部川出張所管内の施工が始まった「小矢部川・合又川合流点処理工事」では発注側・受注側双方の女性技術者が「設計」「監督」「施工」の各部門の現場で、主導権をもって事業を進めています。また、支川管理者である富山県小矢部土木事務所の担当部署においても女性技術者が担当しています。
- 今後、現場が本格的に動き始めますが、樋門の完成、管理引き渡しに向けて女性技術者ならではの「きめ細やかさ」「しなやかさ」「したたかさ」で事業を推進し、建設現場の環境改善に努めていきます。



工事連携会議の実施状況



工事測量の現地確認状況



男性用（個室）とその奥が女性



現場事務所トイレ  
女性専用、男性用（個室）  
トイレは、もちろん水洗

現場事務所の環境改善状況

## ■工事の概要

- 工事名： 小矢部川・合又川合流点処理工事
- 工期： 平成27年6月30日～平成28年3月30日
- 概要： 小矢部川右支川合又川の合流点処理として樋門を施工



支川管理者との現地確認状況

# 黒部河川事務所 H27年度活動報告

## 1. けんせつ小町と女子学生の対談【女性の視点から見た建設業】

●H27. 8. 28(木):女性技術者2名、女子大生3名、女子高生3名

## 2. 桜井高校土木部現地見学【身近な土木構造物を学ぶ】

●H27. 8. 3(月):土木科8名、普通科7名、生活環境科2名

## 3. 桜井高校土木科現地見学【土木施設を見る・知る・学ぶ】

●H27. 9. 28(月):土木科2年生40名

●H27.10.27(火):土木科1年生40名

## 4. 石川高専現地見学【公共事業の役割を学ぶ】

●H27.10. 7(水):環境都市工学科3年生41名

## 5. 富山県立大学出前講座【黒部川の総合土砂管理を考える】

●H27.11. 6(金):講 義(工学部環境工学科2年生11名)

●H27.11.23(月):現地見学(同上)

## けんせつ小町と現役女子学生の対談



### けんせつ小町と女子学生のガールズトーク ～女性の視点から見た建設業～

黒部河川事務所では、8月27日(木)に、女子大生3名、女子高校生3名、現役女性技術者2名により、建設業についての対談を行った。

対談は女性だけで、カフェ的な雰囲気の中でスタートし、けんせつ小町からは建設業に対するイメージや「土木構造物・工事現場」を見学したときの感想等について質問がなされ、学生の視点からいろんな発言が出された。また、学生からは建設業に就きかけ、学生時代のイメージと実際はどうか？等の質問があり、建設業の現状・将来、やりがいや問題点について、実体験を踏まえてけんせつ小町が答えていました。

特に女子大生からは、キャンプ砂防に参加中のため、土木に対する視野がいつそう広がったとの意見をあつた。

最初は緊張した面持ちでしたが、談笑を交えながら対談が進むうちに場も和み、女性の立場からの貴重な意見が出され、有意義な意見交換となった。

対談の詳細は黒部河川事務所ホームページに掲載！

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会ホームページはこちら！

<http://www.hrr.mlit.go.jp/Leaders/index.html>

#### 参加者の紹介



石原 美穂 いしはら みほ  
新潟大学大学院 自然科学  
研究科(環境システム科学  
専攻)卒  
勤務先:大高建設(株)  
勤続年数:14年  
経歴:現場代理人を兼任  
(宇奈月ダム土木局電管作  
業・北陸電力関連維持管理  
作業など)、現在は営業所  
で事務担当。既婚で子供2  
人。



谷本 暎穂子 たにもと なほこ  
京都府立大学 生命環境学部  
森林科学科  
学年:3年  
「キャンプ砂防2015in黒部」に  
参加し、黒部ダム、宇奈月ダ  
ム、砂防堰堤などを見学。



矢杉 雅美 やすぎ み  
群馬県立大学 農学部 生物  
環境学科  
学年:3年  
「キャンプ砂防2015in黒部」  
に参加し、黒部ダム、宇奈月  
ダム、砂防堰堤などを見学。



高栗 美穂 くわはら みほ  
金沢大学 工学部 土木建  
設工学科  
勤務先:黒部河川事務所  
黒部川出張所  
勤続年数:7年  
経歴:宇治川河川事務所  
で維持工事の積算、立山砂防  
事務所で建設設計と請負  
業務経験などを担当し、今  
年の4月から出張所長とし  
て工事監督や維持管理を  
担う。今回の対談でユー  
ティリターを務める。



富成 彩乃 みやなり あや  
桜井高校 普通科  
学年:1年、修学:土木部  
8月3日に土木部の活動で宇  
奈月ダムや黒部川などを見学。



徳内 穂ほりうち さくら  
静岡大学 農学部 環境森  
林科学科  
学年:3年  
「キャンプ砂防2015in黒部」  
に参加し、黒部ダム、宇奈  
月ダム、砂防堰堤などを見  
学。



清水 結志しみず ゆい  
桜井高校 土木科  
学年:1年  
土木部唯一の女性で測量が  
得意。



福井 麻月 ふくい なつき  
桜井高校 普通科  
学年:1年、修学:土木部  
8月3日に土木部の活動で宇  
奈月ダムや黒部川などを見学。

●実施日時 平成27年8月27日(木)  
13:45～15:15

●場 所 黒部河川事務所 会議室

●参 加 者 けんせつ小町 2名  
女子大学生 3名  
女子高校生 3名

\*けんせつ小町とは建設界で活躍する  
女性技術者・技能者の愛称



全員で記念撮影・対談の様子

# 桜井高校土木部生徒17名 身近な土木施設を見て学ぶ



黒部河川事務所では、8月3日(月)に富山県立桜井高校土木部を招いて現場見学会を開催した。  
 桜井高校土木部(山本大貴部長)は桜井高校の生徒のうち、ものづくりに興味を持つ生徒17名が集まって活動している。  
 今回は身近にある宇奈月ダム・黒部川を訪れ、ダムの役割や黒部川について学んだ。部員たちは、宇奈月ダム建設の目的や機能の説明を受け、実際に施設の点検に使う監査廊等のダム設備を見学をした後、黒部川の愛本床止工・堰堤、浦山やすらぎ水路、霞堤などを順に回り、黒部河川事務所職員がそれぞれの役割や仕組みについて説明した。  
 部員たちは見学を通して土木構造物の重要性を学んだ。

- 実施日時 平成27年8月3日(月) 10時30分～16時30分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢宇尾瀬湯谷4の9)  
黒部川(愛本床止工・堰堤～浦山やすらぎ水路～福島堤など)
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木部17名(土木科8名、普通科7名、生活環境科2名)
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ  
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る  
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る



宇奈月ダム



愛本床止工・堰堤

**砂防ダムの役割に理解**  
 黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)が、黒部川(愛本床止工・堰堤～浦山やすらぎ水路～福島堤など)の砂防ダムの役割や構造について説明した。生徒たちは、実際に施設の点検に使う監査廊等のダム設備を見学をした後、黒部川の愛本床止工・堰堤、浦山やすらぎ水路、霞堤などを順に回り、黒部河川事務所職員がそれぞれの役割や仕組みについて説明した。部員たちは見学を通して土木構造物の重要性を学んだ。

建設工業新聞(日刊) 平成27年8月5日(水)

愛本堰堤の設計・仕上げを担う井田博彦(桜井高校OB)



ダム天端で記念撮影



宇奈月ダムの構造や機能を学ぶ部員たち

北日本新聞(日刊) 平成27年8月4日(火)

# 桜井高校土木科生徒 土木施設を見る・知る・学ぶ



黒部河川事務所では、富山県立桜井高校土木科生徒を招いて現場見学会を2回開催した。  
 第1回は、9月28日、土木科2年生が下新川海岸の離岸堤工事の現場を見学し、海岸事業の必要性や離岸堤について認識を深めていた。  
 生徒たちは、はじめに事務所職員から下新川海岸の特徴、工事を行っている離岸堤、副離岸堤の目的、構造や設計方法の説明を受け、続いて施工業者の現場代理人が工事概要、実際の施工方法について話し、建設業のやりがいや交えながら離岸堤に使用するブロックに触れ、大きさや形状を確認した。  
 第2回は、10月27日、土木科1年生が土木構造物の知識を深めるため、宇奈月ダムを見学した。生徒たちは、職員からダムの役割や型式、宇奈月ダムの概要や連携排砂などについて説明を受けた後、ダム操作室、堤体内を見て回ったほか、排砂水路では実際に降り立ち、排砂による摩耗対策に関心を示した。はじめの見学会で、土木構造物の重要性、24時間体制の管理がされていることや、堤体内に設置されている各種計測機器などを目の当たりにし、ダム建設の大変さだけでなく、その後の管理の重要性について理解を深めた。  
 参加した生徒たちからお礼と感謝の言葉があり、見学会を通じて国交省の職場についても関心を示した。

- 実施日時 平成27年9月28日(月) 14時15分～15時30分
- 見学場所 入善町吉原地先
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科2年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)  
施工業者現場代理人等(桜井高校OB含む)
- 見学目的 離岸堤の目的・構造・設計方法について学ぶ  
使用機械、施工手順について知る  
離岸堤ブロックの大きさを確認する

- 実施日時 平成27年10月27日(火) 14時25分～15時40分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢宇尾瀬湯谷4の9)
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科1年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ  
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る



離岸堤について説明する村井海岸係長(桜井高校OB)



施工手順を聞き離岸堤に使用するブロックに触れる生徒



ダム天端で貯水位の説明



排砂水路に降りて摩耗対策の説明を受ける生徒



ブロックの大きさを体感し、記念撮影

建設工業新聞(日刊) 平成27年9月9日(火)



排砂水路で記念撮影

建設工業新聞(日刊) 平成27年10月29日(木)

役割や構造を学ぶ  
 桜井高校が宇奈月ダム見学  
 黒部河川事務所

# 石川高専学生が公共事業の役割を学ぶ

黒部河川事務所では、10月7日(水)に石川工業高等専門学校環境都市工学科学生を招いて現場見学会を開催した。石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生41名が宇奈月ダム及び黒部川を訪れ、河川構造物や急流河川対策工法、公共事業の必要性などについて理解を深めた。

宇奈月ダムでは担当者よりダムの概要や構造、関西電力出し平ダムとの連携排砂の説明を受けた後、ダム堤体内に移りゲート操作室、監査廊、排砂ゲート等、普段立ち入ることの出来ない場所を見学した。

黒部川では、愛本床止工・愛本堰堤、環境に配慮したやすらぎ水路などの河川構造物、過去に洪水により破壊した福島堤や氾濫流を本川に戻す効果を発揮した霞堤について、現地で説明を受け、急流河川黒部川について知識を深めた。

また、以前は海岸浸食が進んでいた荒俣海岸を見学し、宇奈月ダムの連携排砂等による砂浜回復の拡大効果などについて学んだ。

- 実施日時 平成 27年 10月 7日(水) 11時00分～16時00分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢字尾瀬湯谷4の9)  
黒部川(愛本床止工・堰堤～浦山やすらぎ水路～福島堤)  
荒俣海岸
- 対象 石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生 41名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ  
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る  
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る  
海岸で砂浜回復効果を確認する



黒部市愛本地先で愛本床止工・黒部川について説明を受ける学生たち



荒俣海岸で職員より説明を受ける学生たち



宇奈月ダムの構造や機能を学んだあとに記念撮影



建設工業新聞(日刊)  
平成27年10月9日(金)

# 富山県立大学で出前講座を開催

黒部河川事務所は、富山県立大学工学部環境工学科2年生を対象とした出前講座を11月6日(金)から始めた。出前講座は3回にわたり実施するもので、講座では、急流河川黒部川について学んでもらうこと、上流からの土砂流出が多い黒部川の総合的な土砂管理の課題について、ゼミナール型式で取り組んでもらうこととしている。

11月6日(金)1回目は2年生と4年生16人が受講し、藤田事務所長が「黒部川における総合土砂管理の取り組み」について講義を行い、事務所が行っている4事業(砂防・ダム・河川・海岸)の概要について説明を行った。その後、講座を受講する学生11名が3班に分かれ、課題として取り組んでもらう「黒部川の総合土砂管理」の課題内容の確認や取りまとめ方などについて討議を行った。

11月23日(月)2回目は、課題の取りまとめに役立ててもらうため、現地見学を行い、実際に黒部川や宇奈月ダムを見学して、急流河川黒部川の状況や急流河川対策工法、宇奈月ダムの役割構造(排砂水路ほか)などを学んだ。

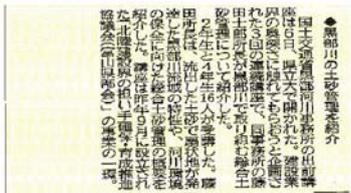
3回目は、年明けの1月29日(金)に行う予定で、課題について班ごとに発表してもらう。

- 実施日時 平成 27年 11月 6日(金) 14時40分～16時10分
- 場 所 環境工学棟3F 1-333地域協働支援室
- 対 象 富山県立大学工学部環境工学科2年生
- 主 催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説 明 黒部河川事務所長
- 講義内容 黒部川の概要  
課題討議(総合土砂管理)

- 実施日時 平成 27年 11月 23日(月) 10時00分～15時45分
- 見学場所 宇奈月ダム、愛本床止工・愛本堰堤、縦工、巨大水制  
浦山やすらぎ水路、入善海岸(園家・荒俣地先)
- 対 象 富山県立大学工学部環境工学科2年生(11名)
- 主 催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説 明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ  
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る  
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る  
海岸で砂浜回復効果を確認する



講義を行う藤田事務所長



富山新聞(日刊)平成27年11月8日(日)



課題討議の様子



講義の様子



北日本新聞(日刊)平成27年11月24日(火)



愛本床止工の役割について説明  
(黒部市下立地先)



宇奈月ダム排砂水路にて



海岸構造物について説明  
(下新川海岸入善町園家地先)



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害の歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に総合的な学習支援の一環として、僕ら「さぼう」探検隊(立山砂防体験学習会)を開催しています。

今回は、平成27年度において、第1回目を以下のとおり開催しました。

開催日 平成27年7月8日(水)  
場所 立山砂防事務所構内  
参加者 立山町立新瀬戸小学校・立山町立日中上野小学校  
4～6年生:31名 引率者:5名 【計36名】  
※今回は、富山県富山土木センター立山土木事務所が行っている「平成27年度こども砂防教室」との共催として開催されました。

トロッコ乗車



砂防堰堤の見学



土石流体験装置(3Dシアター)体験



土砂災害について



行ってきま〜す！

土砂災害って何か分かったかな！



土砂災害を模型で学ぶ

今から体験しまあ〜す！

土石流って怖〜い！



最後に児童から「ありがとうございます」とのお礼の言葉を頂きました



富山と砂防の関わりを楽しみながら理解していただくことを目的として、富山県内の高校生を対象に「SABO体験楽校」を開校しました。

「SABO体験楽校」では、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防事業を実際に体験しました。

時期：平成27年8月4日(火)～6日(木)【2泊3日】  
場所：立山砂防事務所管内  
参加者：富山県立桜井高等学校 3名  
富山県立富山工業高等学校 5名 計8名  
主催：国土交通省立山砂防事務所、一般財団法人 富山・水・文化の財団

開校式



記念撮影



現場体験の打合せ



意見交換会



参加した学生からの感想(感想文から一部抜粋)

■砂防体験楽校に来て本当に良かったです。さまざまな体験をすることによって砂防の大切さや工事の大変さを身をもって学ぶことが出来ました。■作業員の優しい指導のおかげで安全に作業に取り組むことができました。■夕食には事務所や企業の方たちとバーベキューができて、色々な年代の人と話をすることができ、楽しかったです。■今まで以上に砂防について知ることができました。立山カルデラでは富山平野の人々の安全を守るために日々作業が続けられていることによって富山平野の安全が守られていることが分かりました。■立山カルデラには昔から深い歴史やさまざまなことがあった事が分かりあらためて立山というのはすごいものだと思います。

参加された学生の皆さん大変お疲れ様でした。将来は土木に携わる職業に就いて欲しいと思います。



立山カルデラ砂防博物館



無人化施工(遠隔操作)

協力会社 水新建設(株)



山腹工(アンカーピン設置)

協力会社 新栄建設(株)



軌道枕木交換の体験

協力会社 富山地鉄建設(株)



コンクリート打設

協力会社 丸新志鷹建設(株)



修了証書授与



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害の歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に総合的な学習支援の一環として、僕ら「さぼう」探検隊(立山砂防体験学習会)を開催しています。今回は、平成27年度において、第2回目を以下のとおり開催しました。

**土石流構型実験で砂防堰堤の役割を学ぶ！！**

開催日 平成27年9月4日(金)  
場所 立山砂防事務所構内  
参加者 富山市立音川小学校・富山市立榎尾小学校  
4～6年生:62名 引率者:20名 【計82名】  
※今回は、富山法人会青年部会が行う「租税教育バス」の一環として開催されました。

**立山カルデラ砂防博物館の見学**

大型3Dシアターで土石流の怖さを学ぶ

立山の自然を学ぶ

砂防堰堤の役割が分かったかな！



富山市立音川小学校

土石流ってすごい！



富山市立榎尾小学校

砂防堰堤ってすごい！



クイズに夢中！！



工事専用軌道(トロック)について学ぶ！



お礼の言葉

お礼の言葉

**地元 富山県立大学の学生がケーソン製作の  
工事現場を視察しました。**

**北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会**

平成27年7月10日(金)に富山県立大学の1年生が、富山港2号岸壁改良事業のケーソン製作現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、港湾工事の現場に触れて、建設界の魅力や港湾の役割について知ってもらうためのものです。

現場ではフローティングドッグ上からの工事内容の説明の後、実際に作業現場に入ってもらい、メタルフォームの仕組み実演の他、現場技能員から鉄筋結束の実演指導を受け、学生一人一人が鉄筋結束作業の実技を行いました。

この見学会を通じて建設界や港湾について、より感心を持って頂ければ嬉しく思います。



室内で概要説明と質疑応答



フローティングドッグへの乗船



フローティングドッグ上での概要説明



ケーソン製作の足場の上で間近で視察



メタルフォームの仕組み実演



鉄筋結束作業の実演と実習

**地元 富山県立富山工業高校の学生40名が  
ケーソン製作の工事現場を視察しました。**

**北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会**

平成27年9月8日(火)に富山県立富山工業高校1年生40名が、富山港2号岸壁改良事業のケーソン製作現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、港湾工事の現場に触れて、建設界の魅力や港湾の役割について知ってもらうためのものです。

最初に室内で工事概要の説明と質疑応答により、業界でも珍しい港湾工事の内容を理解してもらった後、実際の作業現場であるフローティングドッグに乗船してもらい、間近でケーソン製作現場の視察を行いました。

この見学会を通じて建設界や港湾について、より感心を持って頂ければ嬉しく思います。



室内での概要説明と質疑応答



ケーソン製作を間近で視察



フローティングドッグ上での視察



全員揃って記念撮影

## 地元 南砺福野高校の学生38名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会  
利賀ダム資料①

平成27年7月10日(金)に富山県立南砺福野高校の農業環境科の1年生30名、2年生8名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力や利賀ダムの役割について知ってもらうものです。

各現場での説明の他、座学で橋やダムの形式や一般的な施工手順、庄川における利賀ダムの役割などを学んでいただきました。また、同校のOB(利賀ダム工事事務所職員)やOG(受注業者の技術者)による建設界の仕事紹介では、先輩達の活躍について熱心に聞いてもらいました。

この現場見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。



豆谷橋梁上部工事の見学

快晴の中、心地よい風が吹いていました。



同校OGによる建設界の仕事紹介



昼食前に座学を実施

みんなとても真剣に話を聞いてくれました。



集合写真を撮影(利賀湖面橋にて)

今回の参加者は1年生30名(女子が19名、男子11名)、2年生(男子8名)、引率の先生2名  
2年生より興味・関心、進路希望により野菜類型、草花類型、造園土木類型に分かれて学習するそうです。



見学当日の施工状況  
(豆谷橋梁上部工事)



見学当日の施工状況  
(庄川橋梁上部工事)

## 石川工業高等専門学校の学生41名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会  
利賀ダム資料②

平成27年10月8日(木)に石川工業高等専門学校の環境都市工学科3年生41名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力や利賀ダムの役割について知ってもらうものです。

各現場(ダムサイト付近、上部工の架設が進む庄川橋梁、豆谷橋梁など)での説明の他、座学で庄川における利賀ダムの役割やダムができるまでの流れ、橋梁の架設工法などを説明しました。また、今後の就職活動の参考として同校のOB職員と女性職員より北陸地方整備局の業務内容や職務環境について説明を行いました。

学生の皆さんは、現場のスケールを肌で感じながら真剣な面持ちで職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

この現場見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。



座学の様子

OBです!



工事現場(豆谷橋梁)



集合写真を撮影(利賀湖面橋にて)

## 金沢工業大学の学生77名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会  
利賀ダム資料③

平成27年10月19日(月)に金沢工業大学の環境土木工学科1年生77名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、学生が普段の講義では学べないプロジェクトの現場を間近で体感し、自分達が目指す土木技術者の仕事を理解し、自身の将来像をイメージする機会を提供するものです。

学生の皆さんは、ダムの目的や鋼橋の架設工法等について事前に与えた課題を各自で調べたうえで参加しました。当日は、利賀ダム建設事業の概要や課題に関する説明会を金沢工業大学で行った後に、ダムサイト付近、上部工の架設が進む庄川橋梁、豆谷橋梁を見学しました。

学生の皆さんは、現場のスケールを肌で感じながら真剣な面持ちで職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

この現場見学会を通して土木技術者の仕事の魅力を感じてもらい、また、利賀ダムの役割について関心を持っていただけたらうれしく思います。



説明会の様子



ダムサイト右岸展望箇所



工事現場(豆谷橋梁)

記念撮影(B班)学生37名と先生1名



工事現場(豆谷橋梁)



工事現場(庄川橋梁)



工事現場(豆谷橋梁)

記念撮影(A班)学生40名と先生1名

3

## 石川工業高等専門学校(石川工業高専)の学生41名が利賀ダムの工事現場を見学しました。 ～昨年度見学した学生が工事の進捗状況を確認～

北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会  
利賀ダム資料④

平成27年11月25日(水)に石川工業高等専門学校の環境都市工学科4年生41名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

参加した学生の皆さんは、昨年度も現場見学に来られており、各工事の進捗状況が気になっている様子です。

今回見学した現場は、庄川橋梁・豆谷橋梁・下島大橋の3箇所、同校のOB職員が利賀ダム建設事業における生活再建道路の必要性や橋梁の架設工法などを説明しました。

昨年度は上部工の工事中で仮設エレベーターに乗って見学した下島大橋では、舗装や高欄まで仕上がった出来映えを見て学生の皆さんから歓声がわいていました。また、上部工の架設が進む庄川橋梁と豆谷橋梁では、来春から予定しているアーチ架設も見に来たいといった声もありました。ぜひ見学にお越しいただき、今後の就職活動の参考にさせていただきたいと思っております。



庄川橋梁の左岸展望台にて



現場状況  
(庄川橋梁)

ケーブルクレーンが設置されました



記念撮影(下島大橋にて)  
H27.11.25



現場状況(下島大橋)



豆谷橋梁の現場にて

OBです!



現場状況(豆谷橋梁)

桁の送り出しが終わりました



エレベーターで上空へGo!

昨年度の見学(下島大橋にて)  
H26.11.5

4

北陸管内の9校11学部の建設系大学、高専に訪問して、建設コンサルタントの認知度向上を目的としたPR活動を毎年度行っています。

平成27年度は、建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を9校合計で750部配布しました。また、要望のあった5校を対象に、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について、パワーポイントやビデオを用いた説明会を開催(1校は日程調整中)しています。

説明会開催校で実施したアンケート調査では、「説明会により建設コンサルタントの業務をより深く理解することができた」との評価をいただいております、今後も継続的に説明会を開催していくこととしています。

■建コンPR冊子



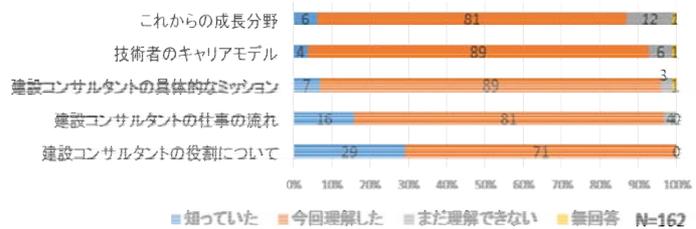
表.建設系大学等へのPR活動状況

写真1.長岡技術科学大学説明会

写真2.金沢大学説明会

学校名	学部・学科	PR冊子配布	説明会
新潟大学	工学部 建設学科	5月21日 50部	-
	農学部 農業環境	5月26日 50部	-
	理学部 地質科学科	5月15日 50部	-
	キャリアセンター	50部	-
長岡技術科学大学	環境・建設系	5月14日 100部	7月28日
新潟工科大学	建築学科	5月13日 30部	-
長岡高等専門学校	環境都市工学科	10月19日 50部	12月7日
富山県立大学	工学部環境工学科	5月13日 60部	11月26日
金沢大学	理工学域	2月18日 or 19日調整中	7月21日
	環境デザイン学類	100部	2月18日 or 19日
金沢工業大学	環境土木工学科	5月14日 60部	-
石川県立大学	生物資源環境学部	5月14日 100部	-
石川高等専門学校	環境都市工学科	5月14日 50部	6月22日

図.説明会開催校における建設コンサルタント業務の理解度



未来の担い手へ確保のための取り組み  
～「建コン協北陸支部技術・研究発表会」への大学生からの参画～

建設コンサルタンツ協会北陸支部業務・研究発表会は一昨年、建設コンサルタンツ協会50周年記念事業の一環として開催されました。その後、建設コンサルタンツ協会北陸支部会員の業務における優れた成果や研究開発成果の発表を通じて、お互いの技術の研鑽を図ることを目的として継続的に開催することとなり、実施したものです。

本発表会は、新潟市を会場としたことから長岡技術科学大学、新潟大学を対象に学生講演を依頼しました。

両大学から学生を推薦していただき、業務・研究発表会で発表していただきました。

8月7日の当日は、支部会員、大学生並びに行政機関の方々も含め、110名のご出席を頂きました。

今後も、官学産連携して開催し、自己研鑽は勿論、未来の担い手を確保する観点からも関連大学への情報発信を引き続き行っていきたいと考えております。

テーマ	発表者
ビッグデータを活用した新たな道路交通指標の検討	エヌシーエ株式会社 総会計画部 ○池田 薫・山村裕章・川端光昭
道路除雪のあり方に関する一考察	開発技建株式会社 調査計画部 ○飯田雅之・佐藤吉一・佐藤勝昭
事故対策(右折離ゼブラ帯)による効果評価方法の検討	開発技建株式会社 交通計画部 調査課 長谷川 克、原 弘行、○矢吹 祐輔、坂庭 宏樹
ASR劣化により構造的破断が確認されたPCT桁の耐荷重評価	株式会社国土開発センター 設計事業部設計1部 ○亀田浩昭・浦 修造・笹谷謙彦
小流量・低落差を克服した水路対応型水車の開発と収益性の高いビジネスモデルの構築	株式会社新日本コンサルタント 市森友明・阿曾克司・○古野昌吾
北陸新幹線開業(分譲駅)に合わせた公共交通整備検討	株式会社新日本コンサルタント 設計計画部都市デザイン部都市計画グループ ○大門健一・道木 健
3次元形状情報を活用したCIM活用誘行支援業務	大日本コンサルタント株式会社 ICT 統括センター、技術統括部 櫻井和弘・和泉 繁・○神原由紀
手取川右岸集落における広域斜面危険度判定マップの適用性について	株式会社日本海コンサルタント 技術事業本部 防災構造部 ○東 寛和・西野尚志・荒木龍介・橋本隆司・小間井孝吉・川村圓夫



演題:長期暴露したコンクリートにおけるセメント水和物の化学分析と炭酸化機構に関する検討  
発表者:新潟大学 工学部 建設学科 高市大輔 くん



演題:道の駅を活用した地域活性化の取り組み事例  
発表者:長岡技術科学大学 都市交通研究室 谷澤明日菜さん

# 未来の担い手へ確保のための取り組み ～「全国の建コン協若手技術者」と大学生とのワールドカフェ開催～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部  
参考資料③

『業界展望を考える若手技術者の会』(以下、若手会)は、全国の若手技術者が一同に会し、業界の諸問題や将来像、改善行動について議論を交わす場として、建設コンサルタンツ協会総務委員会により設置されました。本会は、月1回の頻度で開催されていますが、この度、北陸で開催することになったため、北陸支部若手技術者ワーキンググループから若手会に参加しているメンバーが主体となって企画・運営しました。

『業界展望を考える若手技術者の会in北陸』は、平成27年8月28日(金)～29日(土)の2日間において、石川県金沢市のITビジネスプラザ武蔵、石川四高記念文化交流館で開催しました。内容は、下記のとおり3部構成とし、1部及び3部は、若手会のメンバーでのグループ討議、2部は、地元若手技術者や大学生を交えた意見交換会としました。

## ■1部 グループ討議

- ①近畿支部の活動報告
- ②建コン将来ビジョンに関するグループワーク
- ③グループ発表
- ④全体討議

## ■2部 建コン ワールドカフェ in KANAZAWA ～みんなの「しごと観」と建コンの未来～

### (1) 話題提供

- ①北陸地方整備局による技術者育成支援の取組  
北陸地方整備局企画課 杉本 敦 氏
- ②業界展望を考える若手技術者の会について  
㈱オリエンタルコンサルタンツ 伊藤 昌明
- ③建コン北陸支部での技術者育成支援の取組  
開発技建㈱ 竹内 聡
- ④建コン企業が実施する公民連携事例の紹介  
㈱日本海コンサルタント 片岸 将広



### (2) ワールドカフェによる意見交換

- ①ワールドカフェの概要説明(片岸)
- ②テーマ1に関する対話「今の仕事や働き方をどのように感じていますか？」
- ③テーマ2に関する対話「みんなに羨ましいと思われる建コンの姿とは？」
- ④印象に残ったことの書き出しと全体共有



## ■3部 総括グループ討議

# 地域を守る事業を未来の担い手へPR ～「小学校出前講座」のご案内～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部  
参考資料④

平成16年より、北陸支部管内の小中学校を対象に出前講座を実施しております。これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子供たちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的として行っております。各年度の初めに、「出前講座」のチラシを作成し、関係機関へお知らせを行っており、教育委員会或いは学校からの依頼に基づいて実施しています。

## 「小学校出前講座」のご案内

建設コンサルタンツ協会では、社会貢献活動の一環として小学生のための出前講座を行っています。これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子どもたちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的としています。講座につきましても、学校の単位と連携した内容を企画いたしますので、是非ご利用下さいませ。お願いいたします。



- 対象者 ■  
小学校 4～6年生(学級単位・学年単位と別荘可)
- 講座時期 ■  
平成27年7月～平成27年12月
- 講師 ■  
建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員(専任講師)
- 費用 ■  
全て協会対応予定(講師料・教材等)
- 問い合わせ先 ■  
(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部事務局  
〒920-0066 新潟市中央区南光町6-1 業務ビル7F  
TEL 025-282-3370  
FAX 025-282-3371  
事務局長 松浦 利映  
広報部長 佐々木大介 (090-2327-8959)

## 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

### 小・中学生のための出前講座発表表

開催日	開催地区	講演テーマ
第1回 (H16.10.13)	新潟 (新潟市立木戸小学校)	「世界は人でつながっている」
第2回 (H17.11.5)	石川 (金沢市立森本小学校)	「金沢の偉大な土木技術者 八田尚一」
第3回 (H19.2.22)	富山 (南砺市立城端中学校)	「建設コンサルタンツって何してる？」
第4回 (H19.6.13)	新潟 (新潟市立上山中学校)	「まちづくり コンパクトシティ」
第5回 (H19.10.2)	新潟 (新潟市立上山中学校)	「にいがたの都市交通」
第6回 (H19.11.8)	石川 (金沢市立第九中学校)	「金沢の土木産業興起物語」
第7回 (H20.6.9)	新潟 (新潟市立上山中学校)	「これからのまちづくりに求められる職業」
第8回 (H20.10.1)	新潟 (新潟市立小川中学校)	「交通・防災・福祉」 「公園・自然環境」
第9回 (H22.1.18)	金沢 (金沢市立小野町小学校)	「市民のまのなりたち」 「都市と自然の共生」
第10回 (H23.1.18)	新潟 (新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第11回 (H24.1.18)	新潟 (新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第12回 (H24.12.11)	新潟 (新潟市立九山小学校)	「建設コンサルタントの仕事の役割」 「学校を造る創造環境理解講座(基礎)」
第13回 (H25.6.24)	新潟 (新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」
第14回 (H25.9.19)	新潟 (新潟市立大形小学校)	「身近なところから『環境』について考えてみよう」



新潟市立大形小学校「環境」等について授業風景



平成26年度において、建設コンサルタント業務を紹介する動画として「教えて!ケンコンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を製作し、YouTubeへのアップ、支部HPへのアップ、支部の名刺にQRコードの表記など、効果的にPR活動を行った。  
平成27年度においても、建コンPR動画第2弾として、「教えて!ケンコンさん!～まちの施設を調べよう～」と題して、地元のアイドルを活用し、次のことをコンセプトとして、現在作成中です。  
①観光Map感覚で見ることができること。②地元アイドルの知名度を活用して多くの閲覧が期待できること。  
完成後は、昨年同様に様々なイベントでの放映はもちろん、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県及び石川県から後援を頂き、北陸支部管内の高等学校224校へ動画のチラシ等を配布し、建設コンサルタントの仕事と魅力を紹介する予定としています。これからも建設界の担い手確保のため、積極的に取り組んでいきます。

一般社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部

私たちのくらしをつくる

ケンコンの仕事を紹介するよ

ケンコンのPR動画を見てね!

緑や道路について考えよう

ケンコンってどんなことしてるの?

関係者向け情報	新着イベント情報
役員名簿	組合からのお知らせ
委員会名簿	2015.11.17 国土交通省北陸地方整備局との連携強化について
会員名簿	2015.10.27 国土交通省北陸地方整備局との連携強化について
	2015.03.24 国土交通省北陸地方整備局との連携強化について
	2015.03.24 国土交通省北陸地方整備局との連携強化について

【建コンPR動画を活用した広報活動】

- 建コンPR動画を「YouTube」で公開
- 建コンPR動画は、各支部、各会員会社でも使用可能。また、独自版に改良も可能。
- 上記建コンPR動画のチラシを北陸支部管内の224校の高等学校に配布し、学生にPRした。

教えて!ケンコンさん  
～建設コンサルタントの仕事と魅力～



【名刺を活用した広報活動】

- 名刺上のQRコードからスマホでの読み取りによりYouTubeの動画サイトへリンク

JCCA 一般社団法人建設コンサルタンツ協会 北陸支部

〒920-0805  
石川県金沢市西丸の内1-1-1  
TEL 076-222-3370  
FAX 076-222-3371  
E-MAIL kankon@jcca-norinichi.jp

～建コンPR動画～

教えて!ケンコンさん

まちづくりの専門家  
の門をたたいてみませんか

制作: 一般社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部  
後援: 国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県

**動画第1弾**

PR動画について

1. 動画について  
- 動画は、建設コンサルタント業務を紹介する「のびのびく、楽しいケンコンさん」シリーズとして制作されています。動画の視聴は、スマートフォンやタブレット端末から行うことができます。動画の視聴は、スマートフォンやタブレット端末から行うことができます。

2. 動画の視聴方法  
- YouTubeで検索して見ます。URL: <https://www.youtube.com/watch?v=KXGj8h8h8h8>  
- QRコードから読み取ります。動画の視聴は、スマートフォンやタブレット端末から行うことができます。

3. 動画の活用  
- 動画は、建設コンサルタント業務を紹介する「のびのびく、楽しいケンコンさん」シリーズとして制作されています。動画の視聴は、スマートフォンやタブレット端末から行うことができます。動画の視聴は、スマートフォンやタブレット端末から行うことができます。